Lisse

2023

情報セキュリティホワイトペーパー 2023/2/1

株式会社リセ

https://lisse-law.com/

Lisse

目次

1. 情報セキュリティホワイトペーパーについて 1
1.1. はじめに 1
1.2. 注意事項 1
1.3. 本文書の位置付け 2
2. サービス利用時のセキュリティ上の注意点 3
2.1. 対象とする環境 3
2.1.1. 利用環境 3
2.1.1.1. LeCHECK 3
2.1.1.2. LeCHECK Word アドイン 3
2.1.1.3. LeTRANSLATE 3
2.1.2. インターネット環境 4
2.1.2.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン 4
2.1.2.2. LeTRANSLATE 4
2.2. アカウントの管理 5
2.3. アクセス許可 5
2.3.1. アクセス許可すべき URL 5
2.3.2. アクセス許可すべきメールアドレス 5
3. セキュリティへの取り組み 6
3.1. 組織の情報セキュリティ 6
3.1.1. データの保管場所と法管轄 6
3.1.2. お客様との個別の契約 6
3.1.3. データの閲覧制限 7
3.1.3.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン 7
3.1.3.2. LeTRANSLATE 7
3.1.4. 公的認証取得 7
3.1.5. アプリケーションの第三者評価 7
3.1.6. 従業員のセキュリティ教育 7
3.1.7. お客様への通知方法 7
3.2. 物理的セキュリティ対策 9
3.2.1. オフィスの入退室制限 9
3.2.2. 情報端末の管理 9
3.3. サービスの運用 10
3.3.1. OS 及びソフトウェアの更新 10
3.3.2. サービスの稼働率 10

3.3.3. セキュリティ機器の設置 10
3.4. アカウント管理 10
3.5. 認証機能 11
3.5.1. 設定できるパスワード 11
3.5.1.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン 11
3.5.1.2. LeTRANSLATE 11
3.5.2. アカウントロック 11
3.5.2.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン 11
3.5.3. IP アドレスの制限 11
3.5.3.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン 11
3.5.3.2. LeTRANSLATE 11
3.5.4. 多要素認証 12
3.5.5. シングルサインオン 12
3.6. 認可機能 13
3.6.1. アクセス権 13
3.6.1.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン 13
3.6.2. 不正アクセスの検知 13
3.6.2.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン 13
3.6.3. 入力データ形式の確認 13
3.6.3.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン 13
3.7. 暗号化 14
3.7.1. 通信の暗号化 14
3.7.2. データの暗号化 14
3.7.2.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン 14
3.7.3. パスワードのハッシュ化 14
3.7.3.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン 14
3.7.4. ユーザの管理機能及び権限の設定 14
3.7.4.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン 14
3.8. サービス基盤の構成 15
3.8.1. マルチテナント構成 15
3.8.2. システム構成 15
3.8.3. マルウェアの検知 15
3.8.4. DDos 攻撃への対応 15
3.8.5. クロックの同期 15
3.9. バックアップ 16
3.9.1. バックアップの対象 16

3.9.1.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン 16
3.9.2. バックアップの周期 16
3.9.2.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン 16
3.9.3. バックアップの保管期間 16
3.9.3.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン 16
3.9.4. バックアップからの復旧 16
3.9.4.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン 16
3.10. ログ 17
3.10.1.ログの対象 17
3.10.1.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン 17
3.10.2.ログの保管期間 17
3.10.2.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン 17
3.11. データ管理機能 17
3.11.1.利用履歴の閲覧機能 17
3.11.2.お客様によるデータ復元機能 17
3.12. 決済機能 18
3.12.1.電子決済 18
3.13. 機能の外部公開 18
3.13.1.公開 API 18
4. Appendix 19
4.1. セキュリティチェックシート 19
4.2. 改定履歴 23

Lisse

1. 情報セキュリティホワイトペーパーについて

1.1. はじめに

情報セキュリティホワイトペーパー（以下、本文書）は、株式会社リセ（以下、当社）が提供するウェブサービスについて、当社の情報セキュリティへの取り組みと、お客様にご注意いただきたい情報セキュリティ情報を説明する文書となります。

当社のサービスは SaaS（Software as a Service）として提供され、インターネットからアクセスし利用するソフトウェアサービスとなります。お客様よりお預かりした契約書データ等は重要情報として扱われ、セキュリティに配慮されたクラウド上の環境で厳密に管理されるものとします。

	サービス名	概要
1	LeCHECK	契約書の作成・チェック・翻訳・管理を行うサービス
2	LeTRANSLATE	契約書などの法務文書専用の翻訳サービス
3	LeCHECK Word アドイン	LeCHECK のオプションとなる Word アドインサービス

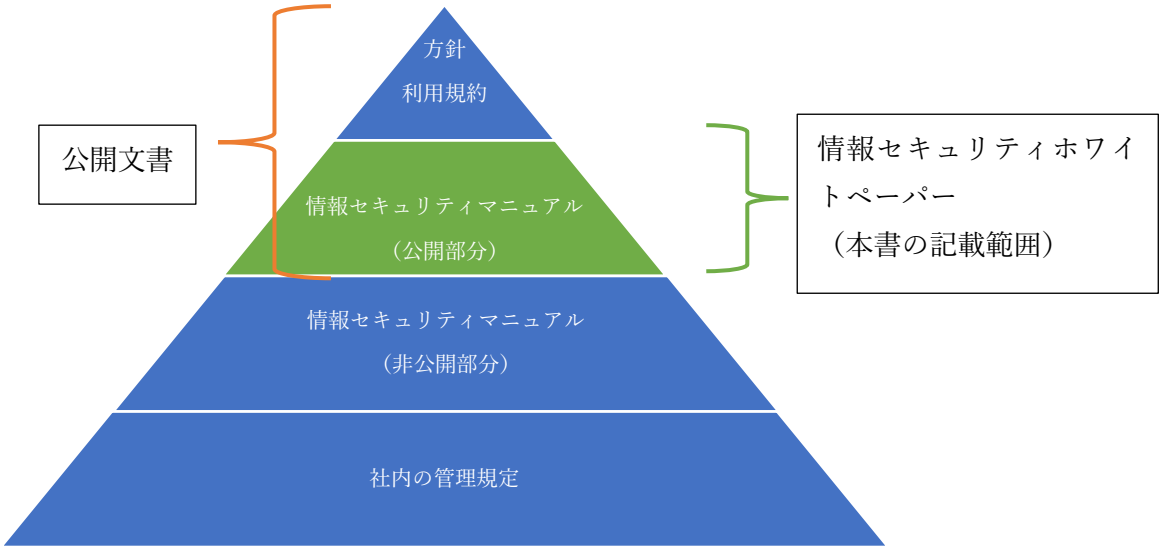
1.2. 注意事項

お客様のセキュリティチェックシートへの回答ご要望の際には、お客様にて本文書を確認し内容をご入力いただき、セキュリティチェックシートの項目のうち、本文書で説明のない項目のみヒアリングさせていただく形でお願いいたします。当社のセキュリティ対応の概要を巻末のセキュリティチェックシートに掲示しますのでご確認ください。

なお、セキュリティの観点から、本文書より詳細なセキュリティやシステム情報の提供は原則として行っておらず、より詳細な情報開示の請求についてはお断りさせていただく場合があることをあらかじめご了承ください。

1.3. 本文書の位置付け

本文書は、当社のセキュリティ文書として管理されているものであり、当社が公開すべきと判断した一部の条項及び技術情報についてのみ外部公開されます。



本文書以外の、情報セキュリティ関連の外部公開文書は以下の文書が存在します。方針及び利用規約の記述について本書との差異がある場合は、上位文書（方針及び利用規約）の内容が優先されます。

	公開文書名	概要
1	プライバシーポリシー	当社の個人情報保護方針
2	情報セキュリティ基本方針	当社の情報セキュリティ基本方針
3	特定商取引法に基づく表記	当社の特定商取引法に基づく表記
4	利用規約	当社の提供するサービスの利用規約

2. サービス利用時のセキュリティ上の注意点

当社のサービスを安全にご利用いただくためにご注意いただきたい事項を、以下に記載します。

2.1. 対象とする環境

当社サービスを利用するために必要な環境について記載します。また、お客様の環境に関する質問事項や作業のご依頼に関しては当社でお受けできません。

2.1.1. 利用環境

2.1.1.1. LeCHECK

当サービスは、PC からのブラウザ利用を想定しており、Windows、MacOS の環境で動作します。また、利用にはブラウザが必要となり Google Chrome、Microsoft Edge の最新バージョンでのご利用を推奨いたします。(他のブラウザでの正常な動作は、当社は保証しておりません。)

2.1.1.2. LeCHECK Word アドイン

当サービスは、PC にインストールいただく必要があります。Windows と MacOS の Microsoft Office 環境で Word アドインをインストールする事により動作します。

また、利用にはブラウザが必要となり Google Chrome、Microsoft Edge の最新バージョンでのご利用を推奨いたします。(他のブラウザでの正常な動作は、当社は保証しておりません。)

2.1.1.3. LeTRANSLATE

当サービスは、PC にインストールいただく必要があります。Windows の Microsoft Office 環境で Word アドインをインストールする事により動作します。

2.1.2. インターネット環境

当サービスは、インターネットアクセスのみ提供しており、専用線や VPN による当社サービスへの直接の接続は提供しておりません。

2.1.2.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン

IP アドレス制限については IPv4 のアドレスのみ登録できます。 IP アドレスの固定化を目的とした VPN 接続を行う場合は、お客様にて環境の準備が必要となります。

2.1.2.2. LeTRANSLATE

IP アドレス制限については提供しておりません。

2.2. アカウントの管理

当社より発行されるアカウント（ユーザ ID 及びパスワードまたはライセンスコード）の情報についてはお客様にて秘密情報として管理いただき、他へ漏洩しないようにご注意ください。

また、アカウントついては個人での発行となりますので組織内でのアカウントの共有を行わないでください。アカウントの追加削除についてはサポート窓口にお申し付けください。セキュリティの観点からも、利用しないアカウントについては停止する事を推奨いたします。

2.3. アクセス許可

お客様の環境でアクセス制限を行っている場合にはサービスが利用できない場合がございます。

2.3.1. アクセス許可すべき URL

お客様の環境で外部 URL へのアクセス制限を行っている場合、弊社サービスがご利用いただけません。弊社サポート窓口に連絡しアクセス許可を行うべき URL を設定いただく必要がございます。

2.3.2. アクセス許可すべきメールアドレス

お客様の環境でメールの除外設定を行っている場合、システムからのメールが受信できない場合がございます。弊社サポート窓口に連絡し許可を行うべきメールアドレスを設定いただく必要がございます。

3. セキュリティへの取り組み

当社でサービスを提供するにあたり実施しているセキュリティへの取り組みを、以下に記載します。

3.1. 組織の情報セキュリティ

株式会社リセの組織情報及び組織として実施している組織的セキュリティ対策は以下のとおりです。

3.1.1. データの保管場所と法管轄

当社は日本の法人であり、本社所在地は東京となります。サービスは Amazon Web Services（AWS）を中心に、 Google Cloud Platform （GCP)、Microsoft Azure などの複数のパブリッククラウドを、各サービスが公開している利用規約に従って、利用し、構築しております。

なお、AWS との利用契約においては準拠法を日本とする契約を締結しておりますので、当該利用契約の解釈には、日本法が適用されます。このように海外法の適用によるカントリーリスクを可能な限り排除しております。また、クラウド環境下で利用するデータおよびバックアップデータ各社が管理するデータセンターの日本国内のリージョン内に保管されます。

当社で利用する個人情報については、お客様の連絡先情報となり日本の個人情報保護法が適用されます。現在、海外からのサービス利用は許可していないため、EU 一般データ保護規則（GDPR）などの適用範囲外となります。

3.1.2. お客様との個別の契約

お客様が当社サービスを利用するには利用規約に同意いただく必要がございます。また、ご希望するお客様については当社と秘密保持契約を締結する事も可能です。

3.1.3. データの閲覧制限

3.1.3.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン

お客様の契約書データについては匿名化し利用される場合がございます。また、匿名化が行われていない契約書データは、当社のシステム管理者にも参照できない状態で保管されております。

システムの不具合調査のため契約書データにアクセスする必要がある場合には、お客様の許可を得た上で、当社の所属弁護士が守秘義務を負った上で確認し、必要に応じて匿名化し利用させていただきます。

3.1.3.2. LeTRANSLATE

お客様のデータは弊社サーバ上に保管されません。

3.1.4. 公的認証取得

当社では ISMS（ISO/IEC 27001 及び ISO/IEC 27017）は取得しておりません。

3.1.5. アプリケーションの第三者評価

当社サービスは年に 1 回外部の診断会社より Web アプリケーション脆弱性診断を受けております。診断項目については「安全なウェブサイトの作り方」「OWSP TOP10」に記載された脆弱性を網羅的に実施しております。

3.1.6. 従業員のセキュリティ教育

当社の従業員は入社時及び年に 1 回情報セキュリティ教育を実施します。教育結果は効果測定を行い従業員のセキュリティへ意識を啓蒙するものとします。

教育の中ではセキュリティに対する啓蒙のみでなく、情報資産の正しい扱い方についてもルール化を行い、ウィルス感染の予防や情報漏洩の防止などの対策について社員教育の一環として実施するものとします。

3.1.7. お客様への通知方法

サービスの稼働状況について次の事象が発生しお客様への連絡が必要になった場合には、以

下のいずれかで通知します。

・インシデントの発生
・緊急停止
・計画停止
・システムアップデート時

3.2. 物理的セキュリティ対策

株式会社リセの組織情報及び組織として実施している物理的セキュリティ対策については以下のとおりです。

3.2.1. オフィスの入退室制限

当社のオフィスは常に施錠管理されたゾーンで作業を行い入退室カードにより入室が可能です。また、入退室管理簿により出社時と退社時の記録を残すものとします。

3.2.2. 情報端末の管理

当社では情報端末を利用するにあたり、資産管理番号により管理された情報端末が、各従業員に貸与されます。また、ウィルス対策ソフトを導入し、ストレージなどの保存領域は暗号化を行うものとします。当社では情報端末の保管に外部記録媒体を利用せずクラウド上に保管します。帰宅時には施錠を行い紛失防止に努めます。

3.3. サービスの運用

サービスは24時間365日提供されます。突発的な障害などを除きメンテナンスなどの計画停止は原則として平日18時以降もしくは休日に行われます。サポート窓口については平日10:00～17:00（土日祝日除く）の営業時間となっております。

3.3.1. OS 及びソフトウェアの更新

当社サービスはAWSを中心に構築されており、バージョン情報や脆弱性情報は常に最新の状態を確認し重要度に応じて即時もしくはメンテナンス（更新頻度は公開しておりません）にてソフトウェアの更新を行います。

3.3.2. サービスの稼働率

サービスの稼働率は非公開となります。

3.3.3. セキュリティ機器の設置

当社サービスにて設置される情報セキュリティ機器を以下に記載します。

	目標値	概要
1	FW の導入	FW を導入し、不要ポートへのアクセスを制限している。
2	WAF の導入	WAF の導入し、Web アプリケーションへの HTTP リクエスト制限している。
3	IDS/IPS の導入	IDS/IPS の導入し、不正なアクセスを検知し不正なパケットを制限している。

3.4. アカウント管理

サービスを利用するためのアカウント発行はサポート窓口にて承ります。

3.5. 認証機能

サービスをご利用する際にはご登録いただいたユーザ ID とパスワードを入力し認証していただく必要があります。

3.5.1. 設定できるパスワード

3.5.1.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン

設定できるパスワードは 12 文字以上で、英数混在アルファベットは大文字小文字混在となっております。

3.5.1.2. LeTRANSLATE

パスワードでの認証は行っておらずインストール後にライセンスコードを入力することでご利用が可能です。

3.5.2. アカウントロック

3.5.2.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン

パスワード入力に 5 回以上失敗した場合は 20 分間パスワードの入力が制限されます。制限解除に複数回パスワードの試行に失敗した場合は対象のアカウントがロックされます。ロックされたアカウントについてサポート窓口にご連絡いただく事で解除できます。

3.5.3. IP アドレスの制限

3.5.3.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン

指定された IP アドレス以外からのシステムへのログインを禁止する設定を行う事ができます。設定についてはサポート窓口までお問合せください。

3.5.3.2. LeTRANSLATE

IP アドレスによるアクセス制限機能は提供しておりません。

3.5.4. 多要素認証

現在、多要素認証によるログイン機能は提供しておりません。

3.5.5. シングルサインオン

現在、 SAML や OAuth などシングルサインオンよるログイン機能は提供しておりません。

3.6. 認可機能

サービスをご利用する際に、利用するアカウントに管理者ユーザと一般ユーザを指定する事ができます。

3.6.1. アクセス権

3.6.1.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン

企業における契約書を管理するサービスであることから、登録した契約書については同じ組織に所属するユーザであれば誰でも閲覧・編集・削除する事が可能です。

3.6.2. 不正アクセスの検知

3.6.2.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン

不正アクセスを常時監視しております。またアクセス情報は利用者と紐づいておりトレースする事が可能です。

3.6.3. 入力データ形式の確認

3.6.3.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン

サービスで利用できるファイルのタイプを確認行います。ファイルの拡張子・マジックバイト・MIME タイプがシステムで許可された形式でない場合アップロードできません。

3.7. 暗号化

当社サービスでは重要情報は暗号化を行い保護されます。また、暗号技術を採用する際には、 CRYPTREC の「電子政府推奨暗号リスト」に従い危殆化していない暗号技術を利用し暗号化を行っております。

3.7.1. 通信の暗号化

全ての通信の SSL 化を行っております。暗号通信方式は CRYPTREC の「TLS 暗号設定ガイドライン」に従い、TLS 1.2 以上を利用しており TLS1.1 以下のプロトコルは利用しておりません。

3.7.2. データの暗号化

3.7.2.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン

保管される契約書等の重要情報は全て暗号され保存されます。暗号化方式はパブリッククラウドが提供する標準機能を利用し AES-256 形式で暗号化を行い保管されます。

3.7.3. パスワードのハッシュ化

3.7.3.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン

保管されるパスワードはハッシュ化（不可逆暗号化）された状態でデータベース上に保管されます。

3.7.4. ユーザの管理機能及び権限の設定

3.7.4.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン

現在、お客様によるユーザ管理機能及び権限や役割の設定機能は提供しておりません。

3.8. サービス基盤の構成

サービス基盤はパブリッククラウド環境を利用し構築し冗長構成を採用しております。このため当社でのサーバに対する物理的なセキュリティ対策は行われておりません。

3.8.1. マルチテナント構成

当社サービスはマルチテナント型でのみの提供となり、お客さまの専用環境でのサービスを構築することはできません。また、データベースやサーバのテナントごとの分離は行っておらず論理レベルでアクセス制御を行っております。

3.8.2. システム構成

システム全体の構成は非公開としますが、耐障害性や災害時の復旧性を考慮したシステム構成とします。また、オートスケーリングによりシステムの負荷状況に応じて、自動的にスケールイン・スケールアウトを行いシステムの安定稼働を目指します。

開発環境とステージング環境が準備されており、リグレッションテストを実施し検証を行った上で本番環境に反映しております。

3.8.3. マルウェアの検知

パブリッククラウド側でマルウェアに感染した際の不審なアクティビティを検知しています。

3.8.4. DDos 攻撃への対応

パブリッククラウド側で DDos 攻撃への対策を行っております。

3.8.5. クロックの同期

パブリッククラウド側で時刻の同期を行っております。

3.9. バックアップ

お客様のデータのバックアップを取得しております。バックアップは障害や災害時のデータ消失に備えた対策となり、お客様の誤操作等によるデータ紛失時の復旧機能としては提供しておりません。また、お客様へのバックアップデータの提供は行っておりません。

3.9.1. バックアップの対象

3.9.1.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン

お客様よりお預かりした契約書等の重要なデータはバックアップされます。

3.9.2. バックアップの周期

3.9.2.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン

バックアップは毎日差分バックアップ、月に 1 回完全バックアップを行っております。

3.9.3. バックアップの保管期間

3.9.3.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン

お客様よりお預かりした契約書等の重要なデータは原則として無期限で保管されます。

また、データは持ち出し可能な外部媒体への保管は行わず、全てクラウド上に保管されます。

3.9.4. バックアップからの復旧

3.9.4.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン

サービスの運用にあたりサーバ障害や災害に備えた定期的なバックアップを行っております。復旧までの目標値は非公開となります。

3.10. ログ

システムの運用で発生するログ情報が保存されます。

3.10.1. ログの対象

3.10.1.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン

取得するログの種別については、アクセスログ、システム変更ログ、アプリケーションログとなります。なお、お客様へのログ情報の提供やログの詳細に対するご質問への回答は行っておりません。

3.10.2. ログの保管期間

3.10.2.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン

システムの運用で発生するログ情報の保存期間については 1 年間以上となります。

3.11. データ管理機能

3.11.1. 利用履歴の閲覧機能

現在、ログイン履歴やポイント利用履歴等を確認いただける機能は提供しておりません。

3.11.2. お客様によるデータ復元機能

現在、お客様の誤操作などによるデータ復旧機能は提供しておりません。

3.12. 決済機能

3.12.1. 電子決済

現在、電子決済機能は提供しておらず、クレジットカード等の決済情報はシステム内に保存されません。

3.13. 機能の外部公開

3.13.1. 公開 API

現在、公開 API は提供しておりません。

4. Appendix

4.1. セキュリティチェックシート

弊社サービスのセキュリティに関する質問への回答事項について以下にまとめます。詳細な対策内容については本文書の本文をご確認ください。

		項目	対応状況
1-01	組織	企業の所在	本社所在地：東京 データの保管場所と法管轄
1-02		データ保管場所と法管轄	日本 データの保管場所と法管轄
1-03		情報取扱者の制限	お客様の契約書データについては当社システム管理者では閲覧できない データの閲覧制限
1-04		公的認証取得	ISO/IEC 27001 及び ISO/IEC 27017 は未取得 公的認証取得
1-05		アプリケーションの第三者評価	外部の診断会社で年に 1 回診断を実施 アプリケーションの第三者評価
1-06		秘密保持契約の締結	希望するお客様は締結が可能 お客様との個別の契約
1-07		サービス利用者への通知	大規模障害や長期停止時に実施している お客様への通知方法
1-08		従業員のセキュリティ教育	実施している 従業員のセキュリティ教育
1-09		データの第三者提供	利用規約を参照 利用規約
2-01	物理	オフィスの入退室管理	実施している オフィスの入退室制限
2-02		情報端末の管理	実施している 情報端末の管理
2-03		物理的なセキュリティ対策	実施している セキュリティ機器の設置 サービス基盤の構成
3-01		サービス利用時間	24 時間 365 日

	可用性		サービスの運用
3-02		サポート窓口	電話、メール、システム内のお問合せ サービスの運用
3-03		サービスの稼働率	稼働率の目標値を設定している サービスの稼働率
3-04		クロックの同期	対応している クロックの同期
3-05		高負荷に対する対応	高負荷などに対してはスケールアウトにて対応 システム構成
3-06		ソフトウェアのアップデート	対応している OS 及びソフトウェアの更新
3-07		耐災害性 （ディザスタリカバリ）	日本リージョンの複数拠点でデータのバックアップを取得している お客様への通知方法 システム構成 バックアップ バックアップからの復旧
3-08		耐障害性 （フォールトトレラント）	サービス基盤の冗長化を実施している お客様への通知方法 システム構成 バックアップ バックアップからの復旧
3-09		DDos 攻撃への対策	対応している DDos 攻撃への対応
3-10		ユーザの管理機能及び権限設定	対応していない ユーザの管理機能及び権限の設定
3-11		利用履歴の閲覧機能	対応していない 利用履歴の閲覧機能
3-12		電子決済	対応していない 電子決済
3-13		公開 API	対応していない 公開 API
4-01	機密性	認証機能の提供	提供している 認証機能
4-02		アカウントロック機能の提供	提供している アカウントロック

4-02		IP アドレスによるアクセス制限機能の提供	提供している IP アドレスの制限
4-03		マルチテナント構成への対応	対応していない マルチテナント構成
4-04		多要素認証機能の提供	提供していない 多要素認証
4-05		シングルサインオン機能の提供	提供していない シングルサインオン
4-06		認可機能の提供	提供している 認可機能 アクセス権
4-07		不正アクセス検知機能の提供	提供している 不正アクセスの検知
4-08		FW の対応	対応している セキュリティ機器の設置
4-09		WAF の対応	対応している セキュリティ機器の設置
4-10		IPS/IDS の対応	対応している セキュリティ機器の設置
5-01	完全性	障害復旧までの時間目安	設定している バックアップからの復旧
5-02		障害復旧の復元ポイント	設定している バックアップからの復旧
5-03		データバックアップ	対応している バックアップ
5-04		バックアップの周期	設定している パックアップの周期
5-05		バックアップの期間	設定している パックアップの保管期間
5-06		ログの取得	アクセスログ、システム変更ログ、アプリケーションログを取得 ログの対象
5-07		お客様によるデータ復元機能	対応していない お客様によるデータ復元機能
5-08		不正アクセス発生時の追跡性（トレーサビリティ）	対応しており、個別での追跡が可能 不正アクセスの検知

5-09		マルウェアの検知	対応している マルウェアの検知
5-10		通信経路の暗号化	対応している 通信の暗号化
5-11		データの暗号化	対応している データの暗号化
5-12		パスワードのハッシュ化	対応している パスワードのハッシュ化
5-13		入力データ形式の確認	対応している 入力データ形式の確認

4.2. 改定履歴

版	日時	概要
1.0	2022 年 12 月 19 日	初版発行
1.1	2023 年 2 月 1 日	ログの章分け、誤記修正

この資料に関するお問合せ先

株式会社リセ
情報セキュリティ事務局
isms@lisse-law.co.jp